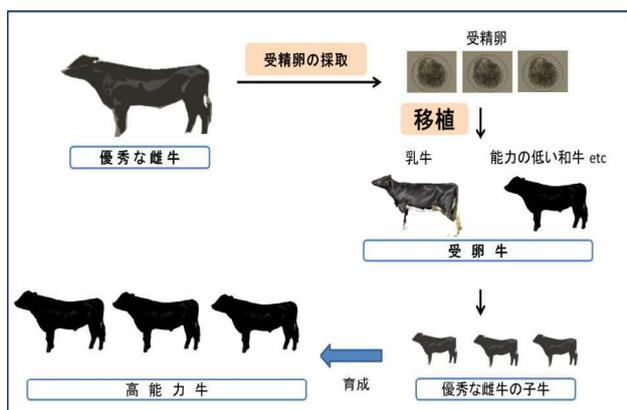


県が誇る岡山和牛改良の取り組み

岡山県では、岡山和牛の改良を図るため、美味しい肉となる子牛を産む優秀な母雌牛の増頭に取り組んでいます。現在、県内の畜産農家は高齢化等により年々減少しており、岡山和牛を育てる農家も減ってきています。この限られた頭数の中で、優秀な牛を効率的に増やす技術が「受精卵移植技術」です。通常、牛は1回の出産に1頭しか産みませんが、この技術を利用すると、1頭の優秀な雌牛から同じような能力を持った受精卵をたくさん取ることができます。

備前県民局管内でもこの技術を活用し、乳牛などに受精卵を移植することで、優秀な雌牛の能力を引き継ぐ子牛が多く誕生しています。今年度管内では、4頭の優秀な雌牛から受精卵を採取し、地域の優良な岡山和牛の遺伝資源確保に取り組みました。



受精卵移植技術活用の仕組み



受精卵を採取